

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	公表日				2025年3月11日		
	放課後等デイサービス 巻わくわくクラブ						
	チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点（意見）	課題や改善すべき点（管理者コメント）	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	0	1人1人が落ち着いて過ごせていると感じる。また、好きな活動を行うスペースが確保されている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	0	・職員の数が少ない日は本部より応援を頼み、人数を確保している	・加えて新年度に備え、新たな人材補充を済ませております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	1	・室内に段差はなく、こどもにわかりやすい構造であると思う。 ・学習スペースと運動スペースに分かれた場所で各自活動に取り組んでいる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	0	・毎日支援施設の掃除を行い、清潔で過ごしやすい空間になっていると思う。 ・終わりの会の後に自立支援を兼ねて、こどもたちと一緒に掃除を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	1	・個別の部屋はない為、必要に応じてパーテーションを活用し空間を作っている。	・クールダウンが必要な場面では集団から離れた安心できるスペースに移動するなどの工夫をして対応しております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	0	・支援後に終礼を行っており、意見が出た際は業務改善に向けて話し合いを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	1	・評価表の結果を職員全員で共有し、保護者の方の意向にできる限り沿えるよう努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	・終礼で1日の振り返りを行い、次の支援に生かしている。その日不在の職員がいて次次の日の朝礼で情報共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	0	・第三者の外部評価は行っていないが、運営本部主体で業務改善に取り組んでいる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	0	・集合研修やオンライン研修は年2回以上参加している。その他、施設内研修等様々な研修を受けることができる。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3	0		（追記）2025年2月25日に公表しました。ホームページにて確認いただくことができます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	0	・各職員が児童の様子を付箋に書いて貼りだし、児発管が計画に落とし込んでいる為、各職員の意見が考慮されている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	0	・計画は職員全員が認知し、計画に沿った支援を行っている。 ・放課後等デイサービス計画の内容が連絡帳にも記載されていて、実施したかを評価する記載方法となっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	0	・契約時にアセスメントシートを使用し、児童の様子を聞いている。また、相談員さんや各職員からの情報、日々の活動などから状況を把握するよう努めている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	0	・5領域に沿った支援内容で放課後等デイサービス計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	0	・日々の活動は各職員が考え、行事や長期休みに関しては、職員全体で話し合っていて決めている。	・活動プログラムは職員内でローテーションを組み、個々で考えております。内容が重ならないよう話し合い多様な支援ができるよう努めております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	0	・毎日異なったテーマのもと、活動を行っている。 ・5つの活動を日ごとに決め、かぶらないようにしている。担当職員もローテーションになるようにしている。 ・毎日いろいろな活動をしたり、季節やイベントなどを活用した活動も取り入れている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	0	・集団活動になかなか参加できない児童に対しては、個別療育を取り入れている。 ・個々の課題や集団での関わりなどこどもの発達に合わせて適宜組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	0	・朝礼や昼礼にて利用児童数や送迎などの分担、活動について確認し合い、支援を行っている。 ・活動内容は日割りて担当を決めており、その日の担当者が考えた活動を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	0	・終礼の際に気づきやできたことなどの振り返りを行い、職員間で共有している。 ・終礼にて気付いた点は話し合う機会を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	0	・活動やケース記録等の支援に関する記録をとり、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	0	・半年に1度職員全員でモニタリングを行い、放課後等デイサービスの見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	0	・日々の活動や支援内容等に複数組み合わせさせた支援が行われていると思う。 ・日々の活動では、自立支援に向けたものや制作、こども同士で考えるような活動など5つのジャンルに沿った活動を楽しみながら行えるよう工夫している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	0	・自己選択をする場面を設けながら支援を行っている。	・一人ひとりに合った支援を提供しております。自己決定については今後の課題として改善に努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	1		・現状は児発管のみが参加しております。今後担当制とし、そのほかの職員が対応することも検討してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	1	・必要に応じて関係機関との連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	0	・こどもの下校時間に合わせて送迎を行ったり行事等を把握している為、学校との情報共有はできている。 ・担当職員がFAXで各学校との情報共有を行っていて、連絡調整については各職員が適宜行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4	1		・現時点では行っていませんでしたが、3月にサービス担当者会議を行う予定があります。今後さらに連携を強化できるよう努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	1		・必要な際には情報の共有を密に図ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	1		・今後、専門機関と連携を図れるような環境作りに努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	0		・児童館や遊戯施設等の利用など、交流の機会を検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	1	・主に児発管が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	0	・支援中の状況を保護者に伝え、保護者からも家庭内での状況を聞いたりし、共通理解を持っていると考える。 ・送迎時や連絡帳などで情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	1		・今後の課題として知識や技術を学びながら機会を提供できるように努めてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	1	・契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	1	・サービス等利用計画や保護者の方とお話した際に得た情報などをもとに放課後等デイサービス計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	1	・放課後等デイサービス計画を示しながら説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	0	・多少時間をいただくこともあるが、可能な限り努めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	1	・保護者のみの交流の機会はないが、長期休みに保護者参観日を設け、保護者同士で関わる機会はある。 ・夏休みに保護者参観を行った際に、保護者同士で関わる場面が見られた。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	1	・苦情解決窓口のポスターを玄関に掲示している。申し入れ等あった際は、迅速に対応できるよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	1	・長期休みの際は、「わくわくだより」等を発行し、活動の内容がわかるようになっている。日々の活動は玄関に写真を掲示し、保護者の目に届くようになっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	0	・守秘義務を守り、個人情報の取扱い等には留意している。 ・ケース記録等、鍵をかけて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	・児童1人1人に適した対話を心掛け保護者にも配慮を行い、情報伝達をするよう心掛けている。 ・筆談やジェスチャー、絵カードを使用する等配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	1		・今後の課題として職員で話し合い、機会を提供できるように努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	1	・マニュアルは職員間で共有し、必要に応じて見直しを行っている。	・職員間での研修をとおしてマニュアルの共有と内容の見直しを行っております。家族への周知徹底については掲示物やお便りなども使って努めてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	1		・定期的にBCPの内容を見直し、備蓄品の入れ替えなど含め必要な修正に努めております。万が一の非常時には個々の職員が自分で考えて動けるように研修訓練も行ってまいります。今後も続けてまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	0	・1人1人の児童のファイルを確認し、児童の状況を踏まえたうえで支援をしている。 ・契約の際、保護者の方にアセスメント表に記入していただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	1	・現在利用されている方で医師の指示書に基づいて支援しなければならない児童はいませんが、職員と保護者の間で確認し、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	1		・月に一度の職員会議で安全計画についてふれ、点検箇所を共有するなど管理に努めております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3	1		・職員間の共有にとどまっております。今後は保護者の方にも知っていただく工夫ができるよう努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	0	・ヒヤリハットを作成した際は、職員間で回覧し情報を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	0	・年に1回以上、虐待防止研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	1	・現時点で身体拘束を必要とする児童はいませんが、職員間では虐待防止研修の中で身体拘束についても理解を深めている。		